

もみ殻の燻炭利用について

平成27年7月27日

新潟市 環境部 環境政策課

1

JA柏崎のもみ殻燻炭製造の概要

【柏崎市, JA柏崎への聞取り】

- ▶ JA柏崎 [にしやまライスステーション]の籾殻炭化施設は平成11年竣工。
- ▶ カントリーはサタケ製。貯留瓶は1000tと小規模。
- ▶ 籾殻炭化施設は関西産業(株)製。
- ▶ 秋と春に出荷し、燻炭もその時に製造。冬は休止。
- ▶ 関西産業(株)の100L袋にパッキングし籾殻炭化物『モミー』として650円/袋(税別)で販売。但し、田に撒く農家は450円/袋。
- ▶ 撒いてくれる農家は10軒で、20ha程度。8袋/10a使用。
- ▶ マニアスプレッターで撒くが飛散する。
- ▶ 籾殻炭化物『モミー』を散布した土壌改良田で、生産・収穫された米はJA柏崎のブランド米『炭秀米』として推進している。
- ▶ 田に撒き消費しているが、なかなか広がらない状態。
- ▶ 園芸にも需要がある。
- ▶ 燻炭にしない余剰もみ殻は堆肥にしている。
- ▶ 8時から17時まで稼働させ、100Lを100袋作成。年間2000袋製造。

2